

👉 **G A Pの取組**  
(個別認証)

# 愛菜ファーム 株式会社

<http://aisaifarm.jp/index.html>

**GLOBALG.A.P.**

トマト

## 【基本情報】

所在地：長崎県諫早市 構成員：社員30名（契約社員を含む）、作業員120名（季節雇用含む）

○事業内容…農産物生産・販売，農作業受託，集出荷事業受託

○農場概要…経営面積：47.3ha（露地野菜37.3ha，施設野菜10ha）

（H30作付品目：トマト（ミニトマト・大玉トマト）8ha，たまねぎ10ha，にんじん12ha，小松菜0.6ha，その他）

○経営理念…「安全・安心・新鮮で愛を育む美味しい野菜の提供！」



## 【G A Pの取得のきっかけ】

◆安全性の担保

◆世界に通用する野菜の生産



2011年認証取得  
GLOBALG.A.P.

## 【GAP認証取得で苦労したこと】

### ◆リスク評価（食品安全・農作業安全等）

- ・作業や現場等のリスク評価（掘り起こし）
- ・リスク評価に基づくマニュアルやルールづくり
- ・日々の各作業現場の管理や農作業等の記録

### ◆社員（作業員）の意識改革

- ・なぜGAPが必要なのか社員の意識改革
- ・作業員への統一された指導や作業手順とルールへの習熟



## 【GAP認証取得による効果や改善されたこと】

### ◆社員・作業員の意識が変わった

- ・社員等が自ら何をすべきか考え意識するようになった。
- ・国際基準のGAPにより、当社が目指す「安全性の担保」と「世界に向けた野菜づくり」に繋がっている。

### ◆輸出の取り組み

- ・平成26年から輸出を開始。自社ブランド「愛果菜」の信頼性の向上（主な輸出先：香港、シガポール）。

### ◆安心安全の担保

- ・問題を迅速に発見し被害を最小限に抑えることができる。
- ・常に自分たちで見直し、改善していくことで、安全・安心の確保と現場に合った体制が構築できている。



👉 **G A Pの取組**  
(個別認証)

# アリアケファーム 株式会社

**GLOBALG.A.P.**

たまねぎ

## 【基本情報】

所在地：長崎県諫早市 構成員：社員7名、作業員（周年雇用：12名、季節雇用20名）  
(農場概要)

経営面積：57.6ha

(H30作付品目：たまねぎ41ha, にんじん8ha, じゃがいも8ha, 長ねぎ3ha, しょうが0.6ha)

(経営理念)

「お客様が求める野菜づくり、信頼される安全性の担保、定品質・定価格・定量産」



## 【G A Pの取得のきっかけ】

- ◆安心安全の担保
- ◆市場ニーズへの対応



2009年認証取得  
GLOBALG.A.P.

## 【GAP認証取得で苦労したこと】

### ◆リスク評価（食品安全・農作業安全等）

- ・各農作物毎の作業等のリスク評価（掘り起こし）
- ・生産から出荷までの各種作業等のマニュアルやルールを自分達で考え構築する

### ◆作業員への意識付け⇒農業を知らない作業員

- ・GAPの取り組みの意味（必要性）をキチンと理解させる必要がある



経営理念を目指した  
**「見える化」**



## 【GAP認証取得による効果や改善されたこと】

### ◆作業員の意識の変化

- ・GAPの取り組みを理解し、社員や作業員が自ら何をすべきか考え意識するようになった。
- ・農業に対する考え方そのものが大きく変わった。
- ・当社が目指している安全性の担保、定品質・定量産に繋がっている。

### ◆安心安全の担保

- ・生産から出荷までの営農活動全般のトレーサビリティが構築された。

### ◆労働環境の整備

- ・作業員との意見交換等により、意見を取り入れることで必要とされる環境整備、現場に合った農作業事故の防止に向けた対策など、互いの信頼関係が強くなった。



👉 **GAPの取組**  
(個別認証)

# 有限会社 田中農園

JGAP

ほうれんそう・  
みずな・こまつな

## 〈基本情報〉

所在地：長崎県島原市

構成員：23名（役員 3名、従業員 20名）

栽培面積：7ha（ハウス：5ha、露地2ha）

（作付品目：ほうれんそう、みずな、こまつな）

## 【経営理念】

- 「美味しい健康・安全な野菜生産を通じて、地域生活の充実に貢献する」
- 「明るい楽しい社会の中で、規律のある職場を通じて、生活の安定・職場づくりに邁進する」
- 「日本一の野菜づくりに邁進する」



## 【GAPの取得のきっかけ】

◆輸出やビジネス面での  
信頼度の向上



JGAP青果物2016  
(2019年1月認証取得)

## 【GAP認証取得で苦労したこと】

### ◆作業員への意識付け

・農薬や道具の整理・整頓など、農業を生業とし食品を扱う上で「当たり前なこと」が出来ていなかった。



## 【GAP認証取得による効果や改善されたこと】

### ◆安全管理・意識改革

・食品安全だけでなく、安全な農作業など、従業員の意識改革ができた。

### ◆品質の管理・向上

・どの圃場で収穫し、誰がパッケージを行い、どこの取引先に納品したか等を、全てデータ管理することでトレーサビリティを構築し、品質管理・向上に繋がっている。

### ◆輸出の取り組み

・平成26年から「素肌美人」「贅沢野菜」の自社ブランド名で香港へ輸出。  
平成29年からマレーシアやシンガポールへも販路を拡大。  
・GAPを取得したことで、海外での優位販売ができるようになった。



👉 **GAPの取組**  
(個別認証)

# JR九州ファーム株式会社 松浦事業所

GLOBALG.A.P.

アスパラガス・ブロッコリー

## 〈基本情報〉

所在地：長崎県松浦市

構成員：正社員4名、期間契約社員24名（うち外国人技能実習生研修生10名）

栽培面積：5.2ha（R元作付品目：アスパラガス3.3ha,ブロッコリー1.9ha）

## 【経営理念】

「地域に入り、その土地の良い物をしっかり掘り起こし、地域農業の活性化をめざす」

**JR九州グループの「安心・安全」の理念を守り、グローバルスタンダードの営農**



## 【GAPの取得のきっかけ】

◆JR九州ブランドの  
「安心・安全」の証明



2019年3月認証取得  
GLOBALG.A.P.

## 【GAP認証取得で苦労したこと】

### ◆社員・作業員への意識付け

- ・GAPの取り組みの意味（必要性）をキチンと社員や作業員に理解させる必要がある。

⇒**全員でGAPの基礎を勉強**

- ・各農作業の流れ中で、ルールと取り組みの意味を伝え、現場にあった内容にする必要がある。

⇒**各農作業の手順やルールなどを現場に落とし込む**



## 【GAP認証取得による効果や改善されたこと】

### ◆作業員の意識の変化 ⇒ **安心・安全の担保**

- ・GAPの取り組みをキチンと理解し、自らが何をすべきか考え、意識するようになった。
- ・生産から出荷まで、食する物を生産する会社として、農作業だけではなく、自分たちが携わった農作物への安心・安全に対する意識付けとして非常に効果があった。

### ◆労働環境の整備

- ・作業員との農作業等の安全に関するコミュニケーションがとれ、一緒にリスク評価を振り返り、見直していくことで互いの信頼関係が強くなった。



👉 **GAPの取組**  
**(個別認証)**

# 栗原ねぎ

JGAP

ねぎ

## <基本情報>

所在地：長崎県雲仙市国見町多比良戌1448-39  
 構成員：12名（家族4名、パート2名、研修生6名）  
 栽培面積：ねぎ 8ha（周年栽培）

## 【経営理念】

豊かな土と水で作物をつくり、安定した農業経営を確立し、  
 地域の活性化に貢献します。

安全・安心な食の供給の担い手として、また持続可能な環境  
 保全農場の実践者として、農業を通じて社会・地域に貢献します。



## <GAP認証取得のきっかけ>

- 香港及びシンガポールにおいて「雲仙栗原ねぎ」※が商標登録されたこと。※雲仙市の雲仙ブランド（2019認定登録）
- GAP認証を取得している知人の勧めをきっかけに、**輸出を視野**に入れ、JGAP認証を取得。

⇒ **令和2年8月 JGAP個別認証取得**

## <GAP認証取得で苦労したこと・取得後の課題>

- GAPの取組に対する**従業員の理解・意識改革**。
- パートや研修生に**細かなリスク対策を自ら実践**して見本を示すこと。
- 膨大な書類作成**。
- GAPの取組を理解してくれる契約出荷先の確保。



## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- 農業安全に対する意識が向上し**、使用する水や流通手段などに対しても**リスク管理**をするようになった。
- 県内外の**スーパーや大手食品企業との取引が増加**。
- 取引小売店の農産物の仕入れ基準の審査が免除**。

## 【今後の意向】

- 『雲仙栗原ねぎ』の**知名度向上**
- 輸出**による販路拡大



## <問合せ先>

TEL : 0957-78-5350  
 URL: kuriharenegi.com

👉 **GAPの取組**  
(団体認証)

# 生産組合 鷹博農園

JGAP

レタス・サニーレタス  
ス・リーフ・キャベツ

## <基本情報>

所在地：長崎県雲仙市愛野町甲3378-6

構成員：6戸

栽培面積：43ha（レタス25ha、サニーレタス5ha、リーフ3ha、キャベツ10ha）

## 【基本理念】

雲仙の肥沃な大地と清新な水でレタス、サニーレタス、リーフ、キャベツを育て、安定した農業経営を確立し、農業の活性化に貢献する。

## 【行動指針】

消費者に安全・安心な農産物を提供すべく、野菜の品質向上に努め、相互の連絡協調と経営の合理化を図り、組合員の所得向上と次世代へ受け継がれる人材育成を行いながら、生産振興を期することを目的とし、食の供給の担い手として、持続可能な環境保全農場の実践者として、農業を通じて社会・地域に貢献します。



## <GAP認証取得のきっかけ>

○大手契約先からGAP認証取得の要請を受けた際、GAP指導員研修等の受講経験から知識があったことと、**長崎県**から**JGAP認証取得の後押し**を受けたこと。

⇒ **令和2年9月 JGAP団体認証取得**

## <GAP認証取得で苦労したこと>

○**狭い段々畑が多数**（400筆程度）あり、**圃場管理の記録が膨大**

○農薬散布、肥料散布及び資材などの**管理記録のデータ化の徹底**

○捨てる物は捨てるのマニュアル作成



## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- 農薬・肥料の無駄が減り**、経費削減。
- 既存経営がリセットされ、GAPに基づく**新たな経営への転換**。
- 様々なデータが蓄積**され**栽培管理へ活用**。

## 【今後の意向】

- 輸出**を目標に、**GLOBALG.A.Pの認証取得**。
- 更なる規模拡大及び販路拡大により、次世代へ繋げる。

## <問合せ先>

TEL：0957-27-5422



## 👉 GAPの取組 (個別認証)

# 坂 上 農 園

<https://www.sakagami-minitomato.com/index.html>

GLOBALG.A.P.

ミニトマト

### <基本情報>

所在地：熊本県玉名市

構成員：ご夫婦、(平坦地) 常時雇用13名 (高冷地) 臨時雇用6名

### <農場の概要>

栽培面積：160a (冬春ミニトマト(赤) 85a、冬春ミニトマト(カラー) 15a、夏秋ミニトマト(赤) 60a)

### <農場のこだわり>

「安心して食べられるトマトを食卓へ(美味しいミニトマトは当たり前)」

■徹底したハウス管理 ■GLOBALG.A.P.取得 ■従業員との情報共有化の徹底



### <GAPの取得のきっかけ>

- 商談会での出会い → ファームアライアンスマネジメント
  - くまもと農業経営塾 → 自社の強みを磨いて競合他社との差別化
  - ①熊本県産ミニトマト ②周年栽培 ③**GLOBALG.A.P.**
- 3本柱で販路拡大**を目指す。



2015年  
GLOBALG.A.P.取得【ミニトマト】

### <GAP認証取得後の付随効果>

#### ◆販売面

- 大消費地のデパートで、GLOBALG.A.P.コーナー販売
- バイヤー様から栽培履歴を求められても即対応できる
- 特に**トレーサビリティが求められる**大手レストラン、外食流通と商談可能に。

#### ◆経営改善面

- **月1回のミーティングで職場の環境改善**
- **リスクマネジメント能力向上**



### <GAP認証取得で苦労したこと>

#### ◆リスク評価

- ・今まで農業をする上でわざわざ考えていなかった。
- ・最初は考えてもなかなか評価出来なかった。
- ・評価後の対応策が分からなかった。

#### ◆危険予測・未然防止策

- ・リスクを見つけるではなく、感じる力が徐々についてきた。

GAPは  
経営改善  
ツール

### <今後の経営展開>

#### ◆地域を守る農業の担い手を増やす。

女性が働きたいと思う農業スタイルや、雇用環境の整備など**楽しい農業スタイルの提案。**

#### ◆法人化による雇用の場の提供

海外研修生ではなく、**日本人の雇用の場を提供**

#### ◆地域農業を守る。

災害時など「**いざという時に役立つ企業**」を目指す。



👉 **GAPの取組**  
(個別認証)

# 玉名の米所 八十八夜

<http://818ya.net/>

GLOBALG.A.P.

米

## <基本情報>

所在地：熊本県玉名市 労働力：夫婦、両親、妹

## <農場概要>

栽培面積：約7.9ha（水稲3.1ha、大豆2.4ha、麦（大豆裏作）2.4ha）

## <経営の理念>

「食で人の体は変わる」



## <GAPの取得のきっかけ>

- ・生産履歴の消費者等へのPR 2018年 GLOBALG.A.P.取得
- ・農産物のブランディング (水稲 2.3ha)

## <GAP認証取得で苦労したこと>

### ◆リスク評価（食品安全、農作業安全）

- ・慣習で行っていた清掃手順や頻度、作業場での飲食禁止、火気厳禁を書面にしたルールを作成
- ・慣行栽培で使用した機械（コンバイン、乾燥機等）を共用しており、交差汚染防止のため清掃

### ◆労働環境の整備

#### （ハード面の設置にかかる導入経費）

- ・GAP認証圃場は無肥料・無農薬であるが、慣行栽培圃場で農薬を使用するため保管庫を平成29年9月に新規購入
- ・作業場の蛍光灯をLEDに交換
- ・倉庫の防虫対策として網戸を新規設置



（農薬保管庫）

## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- ◆圃場毎に出荷袋を別にして、異物混入等が発生しても**最小限の回収**で済む体制を確立
- ◆手渡し販売ではGGAP認証していることで**お客様から好反応**
- ◆認証前に比べ手渡し販売の際に**生産履歴の説明が容易**



👉 **GAPの取組**  
(個別認証)

# 株式会社 鷹本農産

GLOBALG.A.P.

ミニトマト

## <基本情報>

所在地：熊本県玉名市

構成員：正社員6名、パート22名（全て女性、周年雇用）

栽培面積：ミニトマト、米、麦 61.2ha（うち、ミニトマト3.2ha、ハウス103棟）

※令和3年度未来につながる持続可能な農業推進コンクール  
農産局長賞受賞

## 【経営理念】

持続可能な農業経営を支えるGLOBALG.A.P.



## <GAP認証取得のきっかけ>

○安全安心な農産物を食卓へ提供することはもちろんのこと、働く人が、働きがいのある職場環境を作ることで、経営安定と生産性の向上を図りたいと考えた。



GLOBALG.A.P.認証取得 ⇒ 2015年12月

## <GAP認証取得で苦労したこと>

- パート従業員へのGAPの説明（作業効率向上のための体制づくり）
- 各作業のマニュアルづくり



## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

○パート従業員を3チーム体制とし、生産現場では各チーム長の判断に基づき作業を行わせ、作業効率の向上に繋がっている。

○アプリ（スケジュール調整サービス）を利用して、1ヶ月間の作業予定を把握し、柔軟な勤務体制を可能にして、働きやすく、能力の発揮できる職場環作りを徹底している。

○3ヶ月毎に全体ミーティング、月毎に全従業員と個人面談を行い、良い意見、要望に対しては積極的に取り入れ、経営改善、作業方法の改善を行っている。



## <問合せ先>

TEL 0968-57-9492

<https://www.takamotonousan.com>

<https://www.sakagamiminitomato.com/index.html>

## <今後の意向>

○米麦についても、GLOBALG.A.P.認証を取得するよう準備を進めている。

## 👉 G A Pの取組 (個別認証)

# こめだ農園

GLOBALG.A.P.

にんじん

<http://www.komedanouen-daikon.com/> <http://www.komedanouen-ninjin.com/>

### <基本情報>

所在地：熊本県西原村

労働力：夫婦、両親、正社員3名、外国人技能実習生1名、パート6名

#### <農場概要>

栽培面積：25ha（にんじん18ha、だいこん7ha）

#### <経営理念>

「消費者ニーズに応じた野菜づくり、儲かる農業の実現」



### <G A Pの取得のきっかけ>

取引先との契約条件

2016年 GLOBALG.A.P.取得  
(にんじん 18ha)

### <GAP認証取得で苦労したこと>

#### ◆生産履歴等の管理

- ・ほ場管理等の記帳、ほ場地図の作成

#### ◆労務管理

- ・外国人技能実習生が理解できる契約書や作業マニュアルの作成
- ・従業員との意見交換、議事録の作成

#### ◆リスクの把握（食品安全、農作業安全等）

- ・ほ場等の危険箇所の把握及びリスク対応策の考案

#### 【農業者の声】

GAP導入1年目は、農薬や農機具の整理整頓等、労働環境の整備に苦労した。



### <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

#### ◆取引先との契約を優先的に継続

#### ◆リスク管理の徹底

- ・従業員が作業場やほ場で衛生面に気を配るようになり、**より安全で安心な農産物の提供につながる**

#### ◆整理整頓や生産履歴の記帳でコスト削減

- ・整理整頓により、作業場が整理され、**作業効率があップ**
- ・農薬や肥料の在庫管理で**無駄な支出減少**
- ・生産履歴等の管理により、**従業員への情報共有を効率化**



👉 **GAPの取組**  
**(個別認証)**

## (株) 下巢畑農産



JGAP

だいこん・かんしょ

### <基本情報>

所在地：熊本県阿蘇郡小国町下城2701  
 構成員：7名（役員2名、従業員5名）  
 栽培面積：夏だいこん 4ha（延べ面積）、かんしょ 3ha

### 【経営理念】

「こだわりの土づくりで育てた土もの野菜は、阿蘇の高冷地ならではの寒暖の差により、おいしく育つ。土づくりから野菜生産、商品化まで一貫して行う、安全・安心な商品（根菜類、さつまいもの加工品）を提供する。」



### <GAP認証取得のきっかけ>

○6次産業化に取り組んだものの、販売先がなく厳しい状況の中、友人からGAPを知らされ、GAPは、**農業におけるISO**であり**重要**だと気付かされた。

⇒ **令和元年9月 JGAP認証取得**

### <GAP認証取得で苦労したこと>

○整理整頓や農薬の有効期限の徹底など、**これまでとのギャップ**に、**周囲の理解をなかなか得られず苦慮**。

○120におよぶ審査項目のクリア



### <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- 生産工程や販売履歴のデータを蓄積・保存することにより、過去の記録から、過去の失敗を繰り返さない他、経営の見える化にも繋がった。
- 圃場管理**が徹底され、**無駄のない投薬、施肥**となり、**労働時間の短縮**や**経費が削減**された。
- 食品企業や卸、外食産業との契約取引により、計画が増加し**経営が安定**した。

### 「今後の意向」

- ASIAGAP認証**を取得し、**輸出**を含めた販路拡大。
- 青果物と加工品のセット販売を目指す。HACCPの取組も強化して行う。

### <問合せ先>

TEL：0967-32-8117  
<https://gezubatake.com/>



## 👉 GAPの取組 (個別認証)

# 立石農産

<http://www.gunchiku.co.jp/publics/index/21/> (立石グループ)

JGAP

ミニトマト

### <基本情報>

- 所在地：熊本県八代市
- 労働力：夫婦、外国人技能実習生8名、パート6名

### <農場の概要>

- ◇ 栽培面積：1.85 ha (ミニトマト)

### <経営の理念(企業宣誓)>

- ①人と自然に優しい農業を行う
- ②社会のために向上心を持って事業に努める
- ③目標でなく、目的をもって作業を行う



### <GAPの取得のきっかけ>

- 農場・経営管理のツール
  - グローバル化に向けた対応
- 2010年 JGAP (Basic) 取得  
【ミニトマト：全面積】

### <GAP認証の取得・更新で苦労したこと>

- ◆ JGAP農場用管理点と適合基準に沿った**ルール作り**に困惑
- ◆ 更新審査では、特に労働安全、人権保護（実習生等）の作業条件遵守等の**原因追及・改善が厳しく求められ苦慮**

### <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- ◆ **経営の見える化 (PDCAサイクルの徹底)**
  - ・農場、経営を点検することにより**不要(無駄)なもの**が判明 (経営改善、コスト削減)
- ◆ **整理整頓、農作業・点検ルールの徹底**
  - ・整理整頓による**作業効率UP**
  - ・従業員の**意識向上、労働安全に有効**
- ◆ **取引の有利性 (信用・信頼の確保)**
  - ・市場、消費者等に対する**食品安全のアピール**
  - ・**契約出荷、市場での有利販売、取引の拡大**

### <今後の経営展開について>

- ◆ GAPに取り組む**新しい仲間作り** (農業経営者となる人材育成)
- ◆ 将来的には**アジア圏をターゲットに輸出**を検討
- ◆ 現在のJGAPからASIAGAP認証取得を検討 (まずは販路の確保を優先、先方の要望に応じて取り組む予定)



👉 **GAPの取組**  
(団体認証)

# J A 熊本うき生姜専門部会 GAP 研究会

JGAP

しょうが

## <基本情報>

所在地：熊本県宇城市

構成員：50名（部会全体は138名）

品目：しょうが、GAP認証品の取扱量：1,600トン（部会全体の約6割）

## <経営理念>

農家主体の組織運営で、継続的なGAPの取組みを目指す



## <GAPの取得のきっかけ>

取引先からの要請と同時期にうき生姜専門部会に青年部が発足し、役員と青年部を中心に認証取得の機運が高まった

⇒ **平成30年8月 JGAP 団体認証取得**

## <GAP認証取得で苦労したこと>

### ◆ 部会内の合意形成

- 最終目標は専門部会全体での認証取得としつつも、GAP取得を強制的に強いるのではなく、希望者がGAP認証取得に取り組むこととし、役員や青年部が周囲に働きかけ

### ◆ 記録作成と整理整頓

- 作業日誌の記録方法等の研修会を開催
- 青年部を中心に26名がJGAP指導員基礎研修を受講。その中から責任者を決め、部会を6班に分けて倉庫の巡回点検を実施



## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

### ■ 販売価格への反映

- 未取得者よりも販売単価がアップし、GAP認証にかかる経費を相殺。また、出荷規格もより良い条件で販売することが可能になった

### ■ 整理整頓や生産履歴の記帳でコスト削減

- 作業場が整理され、作業効率がアップ。また、農薬や肥料の在庫管理で無駄な支出が減少した

### ■ 部会員間の結束強化

- 年輩農業者への助言を青年部を中心に行ったことにより、世代を超えた生産者間の情報交換が活発化し、部会員間の結束が強まった

青年部でみんなを引っ張ってます！

## <今後の課題>

- 部会内での内部監査員養成と内部監査の効率化
- 現在は県やJAも一緒に取り組んでいるが、最終的には部会で全て完結できるようにしたい



連絡先：TEL 0964-8383-5303

👉 **GAPの取組**  
(個別認証)

# 有限会社土の文化ファーム

GLOBALG.A.P.

ミニトマト

## <基本情報>

所在地：熊本県熊本市中央区上通町 農場：熊本県熊本市北区植木町他

構成員：20名

栽培面積：熊本県内約1.5ha（カラフルミニトマト、ナス、ニンジン等）

経営理念：「私達は誰もやったことのない事へ挑戦することにより日本一の農場を目指す」



## <GAPの取得のきっかけ>

・従来から安全性を意識した生産・販売を行っていたが、**食品安全・労働環境・環境保全**について、国際基準を満たしていることを証明する手段とするため。



2018年5月 GLOBALG.A.P. 取得

## <GAP認証取得で苦労したこと>

### ◆生産履歴等の管理

・ほ場管理等の記帳。

### ◆労務管理

・パート従業員が理解できる作業マニュアルの作成。  
・従業員との**作業の効率化や安全管理等**の意見交換。



### ◆リスクの把握（食品安全、農作業安全等）

・ほ場等における危険箇所の把握及びリスク対応策の考案

## <GAP認証取得による効果>

### ●肥料や農薬の保管場所の整理整頓・入出庫管理

⇒在庫量や使用頻度の把握。

⇒肥料や農薬の管理徹底により、無駄な購入や期限切れ農薬の廃棄などのムダの削減。

### ●GAP品限定の新規販路開拓

### ●企業の農作業実習や支援学校の現場実習などの外部受入



## <今後の展開>

### ●グローバルGAP認証圃場の拡大

### ●南阿蘇農場新設

(夏秋トマトの作付拡大)

### ●GAP認証品の更なる販路拡大



👉 **GAPの取組**  
(個別認証)

# (有) 村川商店 / (有) 熊本有機農産

ASIAGAP

人参・たまねぎ・ばれいしょ・南瓜・ほうれん草・キャベツ・白菜・だいこん

## <基本情報>

所在地：熊本県熊本市東区戸島町2479

構成員：14名（役員2名+従業員2名+実習生10名）

栽培面積：4.5ha（にんじん2ha、たまねぎ0.8ha、ばれいしょ0.3ha、  
南瓜0.2ha、ほうれん草0.2ha、（キャベツ、白菜、だいこん）1ha）

## 【経営理念】

- 安心、安全な新鮮野菜の提供・生産農家の育成・適正利潤の確保。
- お客様との信頼と会社内の人的信頼関係を基礎に、安全な野菜の普及を目的として、この熊本の地より全国に新鮮でおいしい野菜の提供を具体的、実現的に実施していくことを、基本理念とする。



## <GAP認証取得のきっかけ>

- 東京2020オリンピック・パラリンピックへの食材提供を狙う。

ASIAGAP認証取得 ⇒ 平成30年2月

## <GAP認証取得で苦労したこと>

- リスク評価に対応した施設整備や整理整頓の徹底
- 作業工程・衛生マニュアルの作成
- 書類作成に苦慮し、結果、事務専門職員を配置。
- 審査時の質問には、即答が求められ冷や汗。
- 全ての作業について記録を行うことなど、従業員によるデータ管理の習慣付け。



## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- GAP認証取得により、取引先からの信用度が格段にアップ。

○生産から出荷までのトレーサビリティが明確になり、国内スーパーに安全・安心なものを出荷できるようになった。

### 「今後の意向」

- 輸出量を拡大し、国内販売量を縮小。
- JAS認証（無農薬・無化学肥料・安心・安全・美味しいやさいの栽培を目標）を取得予定。



問合せ先: TEL 096-380-8663  
<https://www.murakawashoten.com>

👉 **GAPの取組**  
(個別認証)

# 農事組合法人 夢農塩

<https://www.yumeaguri.co.jp>

JGAP

米 (粳、玄米)

## <基本情報>

所在地：熊本県山鹿市  
構成員：5名（2世帯（4名）、パート従業員1名）  
栽培面積：5.3ha（水稻）



### 【経営理念】

「子や孫に安全安心な食べ物を食べさせたい」

農地に還元塩を散布する「還元塩ミネラル農法」で無肥料・無農薬での米栽培

## <GAPの取得のきっかけ>

米の消費量が減少するなか、輸出を視野に入れ更なる販路確保のため、還元塩を使用した米栽培のほか有機JAS認証を取得。併せて農場管理のためJGAP認証も取得。



**JGAP認証取得**  
**2019年2月**

## <GAP認証取得後の効果>

- 農機具等の整理整頓を行うことで、適切な管理が可能となり、パート従業員へ適切な作業指示ができるようになった。
- 認証を受けたことで、販売会で消費者の目にとまるようになった。

## <GAP認証取得で苦労したこと>

### ◆書類作成等の事務

・今まで農業をする上で特に作成することのなかった多くの書類作成。  
⇒コンサルタントの支援を受け対応。

### ◆危険予測・未然防止策

・生産工程における注意事項について、携わる全ての構成員が理解できるよう作成することに苦労した。

## <今後の経営展開>

### ◆地域の農地をまもる

・地域の高齢化による農業者の減少に対応するため、販売部門の（株）夢アグリとの経営統合の視野に入れ農地を維持。

### ◆安全な食べ物の供給

・今後も無肥料・無農薬による米栽培と販売

### ◆新たな販路開拓

・有機JAS認証とGAP認証を活かした主食用米と米加工品（玄米パウダー、米糠パウダー、ぬか醬（醤油））の販路開拓。



## GAPの取組 (団体認証)

# JAおおいたGAP研究会

<問い合わせ先> J AおおいたG A P研究会事務局 TEL : 097-544-0310 ( J Aおおいた営農部園芸課)

## JGAP

柑橘、みつば、いちご、大葉  
白ねぎ、七草

### <基本情報>

所在地：大分県大分市

構成戸数：78戸

### <経営概要>

経営面積：99.7ha (柑橘：7.9ha, みつば：5.6ha, いちご：7.2ha, 大葉：12.4ha, 白ねぎ：58.9ha, 七草：7.7ha)

### <取組方針>

①本人が諦めない限り、最後まで付き合う！②誰(高齢者)でも取り組むことが出来るよう、工夫を重ねる！



平成29年度未来につながる  
持続可能な農業推進コンクール  
生産局長賞受賞



### <GAPの取得のきっかけ>

■大分県内で発生した残留農薬事故からの立ち直りと販路拡大のため、大分県と連携してJGAP団体認証に向けた準備開始(平成23(2011)年6月)

### <GAP認証取得で苦労したこと>

#### 【認証取得にあたって】

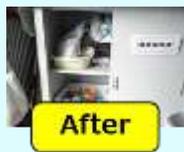
◆取組意思のある高齢者にわかりやすいマニュアルの提示、記帳しやすい様式の必要性等、課題が浮き彫りに。

#### 【認証取得後】

◆3品目が団体認証を取得 → 審査認証費用を抑えられないか。

#### 【生じた課題への対応】

- ◆マニュアルは、**図を多用、文字を大きくする**など高齢者へ配慮。
- ◆生産者が慣れたやり方、様式をできる限り活かす。
- ◆農場・倉庫等の**片づけと整理整頓!**

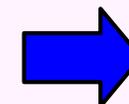


◆いちご、みつば、柑橘の**3団体を統一し、団体事務局の運営効率化**

### <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- ◆柑橘は、GAP認証を取得し団体として取引先と協議することにより**高単価商品としての販路拡大**(糖度等の品質基準も有り)や西日本全体へ**販売エリアが拡大**。
- ◆出荷規格の交渉もより良い条件で進めることが可能となり、いちごについては規格が簡素化し、生産者の**パック詰め作業効率が2倍以上に効率化**

(平成24(2012)年度：7,840g/時間 ⇒ 平成25(2013)年度：15,000g/時間)



【従来の2段詰めパック】

【1段詰めパック】

- ◆いちご、みつば、柑橘の3団体を統一して団体認証を取得することにより、団体事務局の審査費用は**45万円→15万円**、審査対象農場数の削減により**農場毎に負担する審査費用は約4万円→2万円に削減**
- ◆**青果物であれば、どの品目でも追加・拡大できる体制を確立!**

(29年度に3品目追加取得。30年度はさらに2品目の追加取得に向け、取り組み中)

## 👉 GAPの取組 (個別認証)

# シセイ・アグリ 株式会社

連絡先：0974-34-2114 ホームページ：<http://www.shisei-agri.com/>

GLOBALG.A.P.

白ねぎ

### <基本情報>

所在地：大分県豊後大野市

構成員：16名（従業員：12名、パート：4名）

作付品目：白ねぎ15ha、かんしょ2ha、さといも1.5ha

【企業理念】：「志を持ち、誠を尽くす」

【経営理念】：～4つのシセイ（至誠、資生、姿勢、市井）～

GAPの取組状況：社内ルールにGAPを取り入れる事で、社員への浸透を図る



### <GAPの取得のきっかけ>

GLOBALG.A.P.の目指す  
「持続可能な農業」に共感



2018年3月  
GLOBALG.A.P.取得

### <GAP認証取得で苦労したこと>

#### ◆従業員の意識改革

- ・GLOBALG.A.P.の必要性
- ・衛生面  
(食品としての位置づけ)

#### ◆審査書類の整理

- ・作業日報等の記載

#### ◆取得・更新の費用負担



### <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

#### ◆商品や会社に対する信頼性の向上

- ・商談がスムーズに進む
- ・取引先拡大 (増加：5社)

#### ◆従業員の意識の変化

- ・業務の専門化や労働環境の改善により、能力を発揮し、やる気を引き出し**生産性がアップ**

#### ◆整理整頓

- ・定期的な清掃、収納場所の取り決め及び機械のメンテナンスにより**作業効率アップ**

#### ◆作業マニュアルの作成

- ・作業毎にマニュアルを作成することにより、**品質の安定**



👉 **GAPの取組**  
**(個別認証)**

# 有限会社 育葉産業

<http://www.m-mitsuba.com> 美水みつばの郷

<b>JGAP</b>
みつば

## <基本情報>

所在地：大分県豊後大野市  
社員数：38名（うちパート32名）

## <農場概要>

鉄骨アルミガラス温室 7,300㎡（みつば水耕栽培）

## <経営理念>

手を抜かない誠実さをモットーに皆様が食卓で美味しく・安心して召上がっていただける様、優しく、丁寧に**美水（めいすい）みつば**を育てます。

## <認証品目>

**JGAP**  
みつば



## <GAPの取得のきっかけ>

無農薬や減農薬が真に安全の証なのかを疑問に思い、「**根拠ある安全**」を模索し、**GAPの必要性**を見出した。



**2006年 JGAP取得**  
**大分県第1号！**

## <GAP認証取得で苦労したこと>

◆2005年にJGAP初版による認証を受けようと志したが、実施例がなく参考にした協会の資料は研究用であり非現実的であったため、実現可能な仕組みづくりの明文化のところで苦労した。この経験から「**最初から完璧を目指す必要は無い**」ことを知った。まず、作業手順を書き出し、その中に含まれる無理、無駄、むら、リスク要因を見つけ、**できることから取組を実施し、改善を重ねることが大切**だと実感した。

## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- ◆GAPを実践していくと**自然に整理整頓が出来て、機械や道具・書類の管理が的確になり不要な動作が少なくなった**。また、農場全体の管理整理も進んだ。
- ◆**自らの農業のあり方を見直すチャンス**となり、**お客様の視点に立って商品づくり**をするようになった。

(取組の一例)



トレーサビリティ用の札



唾が飛ばないようにするマスク

👉 **GAPの取組**  
(個別認証)

# 農事組合法人 芦刈農産

JGAP

かんしょ

## <基本情報>

所在地：大分県豊後大野市三重町芦刈283番地の2

構成員：30名（社員5名、パート25名）

栽培面積：かんしょ 9.5ha

（紅はるか（商標：はるか姫8.5ha）、シルクスイート（商標出願中：シルク姫1ha））

## 【経営理念】

集落営農法人として、法規制の遵守を基本とし、地元大地の恵みを受けた農産物の生産を継承するため、農業のイノベーションや将来につながる地域農業活動の経営を行い、信頼される農場管理を目指す。

安心・安全な「かんしょ」を消費者へ届ける。



## <GAP認証取得のきっかけ>

- 関東（東京）方面に出荷していたが、オリ・パラを契機に大分県からの勧めもあり販路拡大を期待。
- また、6次産業化により、焼き芋急速冷凍真空パックを商品化したことも含め海外を視野に販路拡大を検討。

⇒ **令和2年2月 JGAP個別認証取得**

## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- 従業員の農作業安全に対する意識が改善。
- 農薬散布など記録の見える化（データ）により在庫管理が可能となり無駄が減り、経費を削減。
- 生産物のトレサビリティが確立。
- 従業員任せから責任者が確認する習慣ができ、指示系統が確立。

## <GAP認証取得で苦労したこと>

- 従業員に対する整理整頓の徹底などの意識改革。
- 資材等の在庫管理の徹底。
- 機械の点検・清掃の徹底。
- 自己点検の評価項目、帳簿等の書類の種類が多さ。



## 「今後の意向」

- 青果物、加工品をアジア・マカオへ輸出。
- 国内市場での認知度向上。
- 施設整備により、加工品の製造を10倍まで増加。

## 【問合せ先】

TEL 0974-22-6016

<https://asikarinousan.com/?mode=f1>

👉 **GAPの取組**  
(個別認証)

あんだち  
**ここのえ安達農園**

GLOBALG. A. P.

ブルーベリー

<基本情報>

所在地：大分県玖珠郡九重町

栽培面積：1.5ha（ブルーベリー）

構成員：家族4名、パート7名

【経営理念】：ビッグよりストロングを目指す！



<GAP認証取得のきっかけ>

農業の世界標準規格の認証に関心があり、イオンアグリ創造(株)の「創農塾」受講をきっかけにGAPが必要と判断。



**2016年10月**  
**GLOBALG.A.P.取得**

<GAP認証取得で苦労したこと>

- ◆ コンサルタントに頼らず、「創農塾」の受講と自助努力のみで取得したこと。
- ◆ パートにGAPの意義を理解してもらうこと。



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- ◆ 家族やパートが、自分の働く農場に対して「我が農園は世界基準だ！」とプライドや意識が芽生え「なぜこうするかを自ら考える」ようになった。
- ◆ 世界基準で認められた農場だからこそ「良い商品を作りたい」という意識が醸成された。
- ◆ 生産するだけでなく商品として「お客様に届ける」との意識が生まれ、ロスが減った。
- ◆ マスコミを始め各方面から注目されることが増え、農園のメディアへの露出度アップ、PRに繋がっている。



<今後の目標>

- ◆ 農業と福祉の連携として、収穫作業やジャム加工など障がい者や高齢者が安心して働ける場を目指す。また、将来的にはGAP、有機JASを活かして輸出も視野に入れたい。

問合せ先

T E L 0973-78-8917

E-MAIL mka-an@oct.net.ne.jp

👉 **GAPの取組**  
(個別認証)

# 久保さんちのお米 (株)

JGAP

米

## <基本情報>

所在地：大分県宇佐市下高家1463

構成員：4名（役員1名、従業員3名） 栽培面積：37ha  
（うるち米13ha、もち米0.5ha、飼料用米23.5ha）

## 【経営理念】

### ○安心・安全ファースト

私達は、「自分の子ども達に食べさせる農産物を皆様に」をモットーに、安全・安心な農産物をお客様に届けます。農園で働く仲間とともに、より質の高い農産物を目指し、私達の農産物で皆様が幸せな気持ちになってもらえるよう日々努力しています。



## <GAP認証取得のきっかけ>

- 「安心いちばんおおいた産農産物認証（大分県独自の安全性基準に基づいて栽培された農産物）」の取組から、**更なる取引拡大**を図るため。
- 法人化を契機**に、法令遵守や**持続可能な経営を目指すため**。

**JGAP認証取得 ⇒ 令和2年9月**

## <GAP認証取得で苦労したこと>

- 三代続く農家のため不要品の整理整頓。
- 書類の整理、作成（データ入力を含む）。
- 食品安全・環境保全・労働安全のリスク管理の徹底。
- 各種のルール作りやマニュアル化。



## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- 整理整頓ができたことで、作業効率が上がった。
- 農作業安全の意識が変わった。（講習会なども受講）
- マニュアルに基づく作業の徹底により、リスク軽減に繋がった。
- 日々の作業の中でも、生産工程管理に関する会話が出るようになった。
- 圃場作物の栽培履歴がデータ化されトレーサビリティが明確になった。



## 「今後の意向」

- 輸出マッチングに参加**。
- 販売先に応じて、GLOBAL G.A.P. 又は、ASIAGAPの認証を取得**。



## 問合せ先

TEL0978-32-4831

<https://kubosantino-okome.com/>

👉 **GAPの取組**  
(個別認証)

# (株) 安心院オーガニックファーム

JGAP

ベビーリーフ・リーフ  
レタス・シャンツアイ

## <基本情報>

所在地：大分県宇佐市安心院町  
 構成員：役員及び正社員3名、パート8名、海外研修生4名  
 栽培面積：14.75ha（内、ハウス3.45ha）  
 ※有機JASの認定も受けており、圃場で使用する水も地下水を汲み上げ、ベビーリーフは品持ちが良くシャキシャキ瑞々しいのが特徴。



## 【経営理念】

大切な人の健康を想い、安全かつ新鮮な野菜を安定供給し、豊かな食文化に貢献する

## <GAP認証取得のきっかけ>

OGAPIは、今後の農業において重要なものになると考え、JGAP指導員の勧めもあって、農業生産法人立ち上げ時に、**JGAP認証**も取得する計画を立てた。

**JGAP認証取得 ⇒ 2012年4月**



## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

○肥料・資材等の整理整頓により**作業効率が上がった**。  
 ○毎朝の朝礼により**従業員の意思疎通が深まった**。  
 ○危険な場所の事前確認を行い、**重大事故の未然防止**につながった。



## <GAP認証取得で苦労したこと>

○会社設立と同時にGAP認証及び有機JAS認証を取得する計画であったため、少ない人数で、やるべきこと、作成する資料が膨大となった。

## <今後の意向>

○当社の栽培スペックをフルに活用して、お客様へ新鮮で安全・安心な野菜を安定的に供給していきたい。



## 〈問合せ先〉

TEL 0978-58-3606 FAX 0978-44-1671

<https://www.facebook.com/ajimuof>